

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	三輪野山地区総合治水対策事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	03	03	01	57
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	中西 辰夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三輪野山地区の市民	意図	三輪野山地区の雨水排水状況を調査、検討し浸水被害を軽減する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 三輪野山地区で千葉県事業の（仮称）三郷・流山橋建設と合わせ和田堀都市下水路の改修検討を行う。 放流先河川の管理者である千葉県や国交省と協議を行う。 設置から5年が経過した水位監視装置のシステム更新を行う。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 三輪野山地区は、和田堀都市下水路及び三輪野山雨水幹線が整備されているが、台風等の大雨時には道路や家屋への浸水被害が発生している。 浸水対策として水位監視システムの構築や都市下水路のかさ上げを行っている。 抜本的な浸水対策として和田堀都市下水路の改修を千葉県と行うことで合意した。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	千葉県道路事業の（仮称）三郷・流山橋建設に合わせ、浸水対策となる和田堀都市下水路改修事業実施について千葉県と合意に至った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 新樋管築造に係る放流先河川の今上落を管理する千葉県と河川協議を行った。 必要な用地の確保について事業主体である千葉県に要請した。 本市が整備する今上落への新樋管について社会資本整備総合交付金の申請を行った。 水位監視システムの作動状況確認と通報センサーの補正を行った。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,174,500	8,015,000	17,720,000				
事業費(b)(円)	496,800	6,642,000	14,364,000				
うち一般財源	496,800	6,642,000	9,414,000				
職員給与と費(c)(円)	677,700	1,373,000	3,356,000				
人役・職員(人)	0.09	0.20	0.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 和田堀都市下水路の改修に向け、新樋管の実設計委託を行う。 出水期に備え水路の維持管理を行う。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度第4回定例会で三輪野山地区の放流先である今上落の抜本的改修の陳情が採択された。
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 国、県に一級河川今上落の抜本的改修要望を行った。 新樋管設計にあたり、千葉県と河川協議を実施した。 和田堀都市下水路の浚渫を行った。 	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修計画の策定を要望しつつ定期的な対応を県と実施する。